

農地を守る

農地・水・環境保全向上対策事業の取り組み

自分たちの住む集落を守るため、農地を含めた環境を良くする活動が、農地・水・環境の事業をきっかけに各地で始まっています。今回は、大安町の「桜川クラブ」の活動を紹介します。

桜川クラブ (丹生川中地区)

ヒメイワダレソウの植栽



今年6月の土・日を利用し、農村環境の保全と雑草対策として昨年
から準備をしていた「ヒメイワダレソウ」を道路の法面に植えました。
作業は法面の下処理をしたあと、防草シートを張り、一定の
間隔でヒメイワダレソウの苗を植えていきました。全面に生え
広がるのにはしばらくの期間が必要ですが、咲きそろったとき
の景観と、草刈りの軽減を期待しながらの作業になりました。



早く根付いて
育ちますように



春には田植えを
しました

稲刈り体験

昨年の10月に、丹生
川小学校の5年生が春に
田植えをして育てていた
稲の刈り取りと、脱穀作
業を体験しました。稲刈
りは地区の農家の方に刈
り方と結束の仕方を教えてもらいました。

脱穀は昔の足踏み式の脱穀機で、子どもたちに貴重な
農業体験をしてもらいました。



こうやって
束ねるんだよ



稲刈りは
大変だなあ



昔の機械って
おもしろいね

集落内の缶拾い

8月には、子ども会が集落内の道路沿いの空き缶やごみを拾い集積場へ、また、同じ日に地区内の廃品回収も行い、分別の大変さを経験してもらいました。

一年間、農業施設の清掃管理や補修を主に活動してきましたが、農業体験を通じ、子どもたちとも世代を越えた交流が出来たことが良かったと思います。今後も子どもたちを交え、マンボ・井戸の状況や機能を勉強する機会を設け、地域のことを再確認していきたいと思います。



問 藤原庁舎 農村整備課 ☎46-6304 ☎46-6319

編集後記

今年には北海道洞爺湖サミットが開催されたこともあり、地球温暖化防止がよく話題になっています。みなさんの職場や自宅ではどのようなエコを実践していますか？「白熱灯(100W)を蛍光灯に(30W)に換える」「冷房の温度を1℃高く設定する」「使っていないときにはテレビ・パソコン・洗濯機などのコンセントを抜く」などエコって面倒で不便な面もありますよね。でも、よく考えてみるとお財布にも地球にも優しい取り組みです。実際、私はマイバック、マイカップ、マイ水筒、マイはしを実践しています。これくらいは当たり前！でもそれが大切なんです。あなたの「マイ〇〇」を1つでも増やしてみませんか。

いなべいきいきマイタウン

▶たくさん話し合っった 北海道洞爺湖サミットロゴマーク

北勢きらら学園卒業生・現在社会福祉協議会勤務 伊藤加奈さん(藤原町)

北海道の雄大な自然の中で開催されたサミットの
ロゴマーク、実はいなべ市出身の伊藤さんたちのグ
ループが作ったデザインというのはみなさんご存知
でしたか？きらら学園在学中だった昨年、総合学習
の時間に5人グループがさまざまな意見を出し合い、
自分たちの想いを詰め込んだロゴが見事、最優秀賞
に選ばれました。伊藤さんはこのサミットを機会に
エコ生活に関心を持つようになったそうです。「エコ
バックを持つ、アイドリングストップなど少しの
ことでCO₂を減らせないと努力しています」とに
こやかに話しをしてくれました。



「中央の緑の円は発芽している種で、青色の円は地球を表し、地球上で自然環境と人類が共生している姿を表現しています」とロゴマークを手にはほほ笑む伊藤さん

情報提供:広報秘書課



生活情報「まいめる」
QRコード



モバイルサイト
QRコード



いなべ市ホームページ
(携帯電話用)QRコード

*記事中有るQRコードは一部の携帯電話でご利用にならない場合があります。

発行/〒511-0293 いなべ市員弁町笠田新田111番地 ☎0594-74-5820 ☎0594-74-5821
編集/企画部 広報秘書課 <http://www.city.inabe.mie.jp/>
平成20年8月1日発行 Vol.57

※古紙配合率100%再生紙を使用

